

(一般西己有)

狛江市市民公益活動事業補助金

「新しい風補助金」

平成20年度選考会



平成20年 5月31日

狛江市役所 地域活性課

平成20年度 新しい風補助金 応募団体(全14団体)

No	頁	分類	団体名	事業名	事業計画	申請額
1	1	新規	特定非営利活動法人 CULLカリタス カウンセリング学会	狛江市民の 生き甲斐支援活動	(1)小冊子(A6版)＜生きがいて、なあと＞を1,000部作成する。 (2)配布先は市役所、福祉関連施設、保健所、学校、駅事務所、交番、地域センター等の公的機関 (3)予防医学的な視点から狛江市民の精神衛生を向上させる。 (4)生き甲斐の見つけ方、孤独死・自殺防止。 (5)生き甲斐の心理学をきちんと学ぶ契機を作りたい。	200,000
2	7	新規	狛江市指定文化財 石井家住宅を 記録にとどめる会	狛江市指定文化財 石井家住宅を 記録にとどめる事業	元和泉の旧家石井家住宅の主屋と長屋門、土蔵の3棟は、本年3月狛江市文化財に指定されました。当家は江戸時代中期以後和泉村松下領の名主を務め、主屋は江戸中期の武蔵野を代表する古民家で、長屋門は江戸後期、土蔵は明治初期の建物です。これらの建物は本年11月に国営昭和記念公園に譲渡・移築され、指定も解除されます。わずかな期間ですが、この文化財を記録にとどめるため、見学会、講演会、展示会などを催します。	200,000
3	11	継続	アイ・ラブ狛江	わが家の味を 伝えよう ～パパとママから わが子へ	昨年度の新しい風補助金により「親子で学ぼう、楽しい食育」というテーマで事業を開催。学習と実践を交えた3回の事業では「食の安全性や重要性そして作って食べる楽しさを啓蒙する」という趣旨をアピールした。今年度はさらに実践をメインに料理実習を2回行う。ここでは「家庭の味を作ることを大切にしながらそれを伝えていくこと」に焦点を絞って食が家族のコミュニケーションを保つ大切な要素であることを体感させたい。また子育て支援という面では6回程度の相談会を設けて、離乳食や心の相談など個々のニーズに応じていくことも行い、食育のネットワークを広げていきたい。	200,000
4	17	新規	ひめしゃら塾	ひめしゃら塾 舞踊公演 「風の産屋（ムスビ）」	ひめしゃら塾舞踊公演は今年で3回目になります。日本の文化や狛江の民話などを題材として舞踊作品を作ってきました。今回は、日本最古の書物である「古事記」から題材をとり、音と声と踊りの創作舞台を作り上げました。昨年は狛江市を中心にその近辺から500人近くの方々に観ていただき、楽しんでもらうことが出来ました。今事業もより多くの狛江市民の方々に観て喜んでもらい、狛江市の音楽、芸術、文化の向上に尽くしたいと思います。	200,000
5	23	継続	和泉多摩川緑地都立 公園化話し合い会	和泉多摩川緑地 ガイドマップの 印刷と活用	昨年度初めて「新しい風補助金」を受け、関係市民団体からのヒアリングと公園見学会やワークショップを行いながら、世田谷通りと和泉多摩川緑地地域のマップを作成し、「和泉多摩川緑地ガイドマップ」としてまとめた。今年度は、このガイドマップを印刷し、関係機関、団体、個人に向けて当会の目的である「和泉多摩川緑地」の都立防災公園事業化運動のために活用し、見学会、学習会などを催しながら、東京都に事業化要請の意思表示を行う。	200,000
6	27	新規	かわせみコンサート 実行委員会	かわせみコンサート	①気軽に立寄れる手作りコンサート ②地域の連帯を形成するための媒体としてのコンサート ③地域の社会福祉施設への支援 ④子供たち、子育て中の母親、高齢者への音楽との触れ合う場の提供 ⑤音楽を通じた仲間作りの支援 ー以上を目標として、月2回のコンサート実施予定	200,000
7	33	継続	狛江・まちづくり市 民会議	歩きたいまち ー市民協同 プロジェクト	狛江市都市計画マスタープランが言う「協働型まちづくりの推進」の一角を担うため、対象地域に選定した「八幡通り」周辺地域について、「歩きたいまち」をテーマに、まちづくり提案を地元住民ぐるみで作成するプロジェクトの3年目です。 ＜今年度の取組み＞ ●地域住民のワークショップによる検討 ●生活幹線道路のあり方への提案 ●一部の道路空間環境についての具体的提案 ●コミュニティバス運行計画への提案・要望	200,000

8	41	新規	NPO柔法	体質別護身健康法	NPO柔法は、独自の体質判別方法に基づく所作(姿勢、呼吸、動作)の普及を通じ、不特定多数の個人の健康維持・増進に寄与する団体として、1999年に創設しました。自分の体質に合った所作を知れば、日常生活や他のスポーツにも活用できます。また、ゆったりとした呼吸に合わせて行う「ゆるめ運動」は、高齢者でも無理なく行え、心身ともにリラックスできます。本年は粕江市の各地域センターを中心に、月3回の教室を開く予定です。粕江市に事務所を移転した縁もあり、粕江市民が地元で気軽に参加でき、柔法が市民の健康に貢献する場が設けられれば幸いです。	150,000
9	47	新規	NPO粕江まちづくり市民フォーラム	首都直下型地震を想定した粕江市民の意識調査	大型地震を想定した東京都及び粕江市の防災計画のもと、震災時の対策が公共施設の増強を主体に改善が進められ、発災時の人名、物質、経済的損失を減少させることが関心事となっている。これらに対する粕江市民の意識調査を行い、安全確保の手法を検討し、関係者への情報提供資料を作成する。市民の地域特性、年代層別、家族構成等の面から防災意識、発災後の避難行動などを具体的に把握することで、今後の市民・行政相互の具体的防災指針と行動マニュアルの参考資料が得られる。	200,000
10	51	新規	NPO法人 ひよこぐさ	ひよこぐさ 出前ゆうゆう (勇気遊悠久)	ひよこぐさの理念である地域の支え合いの視点からさまざまな活動者、団体機関と連携しながら、住民相互の活性化を目指していきます。明るい生き生きした街づくりに尽力し、粕江に住んでよかったと思える楽しいコミュニティづくりに寄与していきます。	170,000
11	55	継続	特定非営利活動法人 バリアフリーセン ター 福祉ネット 「ナナの家」	NPO法人福祉ネット 「ナナの家」 10周年記念事業 多摩川乗馬会の 基盤整備	お蔭様で、福祉ネット「ナナの家」の活動も、今年で10年目を迎え、その交流活動の中心である多摩川乗馬会は41回目を迎えます。多摩川乗馬会では障がい者や小さなお子さんも、誰もが安心して馬やさまざまな出し物を楽しめるように準備しています。昨年は移動マウンテンランプも完成し、より豊かな交流が期待されます。今回は宣伝のためののぼりとミニ看板、10年の間に破損したテントとテーブルなどの基盤整備を行いたいと思い、応募させていただきました。	200,000
12	61	継続	特定非営利活動法人 粕江共生の家	地域の力推進事業	NPO法人粕江共生の家の目的は、広く一般市民を対象に主として粕江の一人暮らし高齢者のための「地域共生の家」をつくり、そこを拠点として入居者や地域の人々の日常生活や緊急時の支援などを、地域の人々と共に行うことによって、地域の力を高め、少子高齢時代にふさわしい安心で豊かなコミュニティを基盤とする社会を構築していくことです。そのための事業を「地域の力推進事業」と呼び、目的達成に向けた諸講習会、教師などを、近隣住民、一般市民に呼びかけ、参加していただく計画です。	200,000
13	67	新規	ホワイトパレット	手づくり絵手紙工房 と 地域ミニギャラリー	興味はあっても一歩を踏み出せずにいる人たちに絵手紙という小さな空間上の自己表現を通じて自信や発表の喜びを味わってもらおう。身近な素材と専門的な画材を併用し、その人のもつ個性や感性を表現したオリジナル絵手紙の作成が実現できるような教室活動を目的とする。	200,000
14	71	新規	粕江聞こえにくい人のふれあいの会	中途失聴・ 難聴者のための 福祉講座	平成20年4月に上記の中途失聴・難聴者の会が発足した。多くの中途失聴・難聴者が読話、手話などのコミュニケーション方法や、補聴器の選択、購入の際の助成の受け方など福祉面での情報を求めていることが分かった。引きこもるなど消極的になっている中途失聴・難聴者が、この福祉講座で学ぶことによって、障がい乗り越え、たくましく明るく生きていくことができるようになることを期待したい。	200,000

平成20年5月12日

狛江市長 矢野 裕 様

団体名 特定非営利活動法人

CULLカリタス カウンセリング学会

代表者名 理事 植村 高雄



市民公益活動事業補助申込書（平成20年度）

事業名称	狛江市民の生き甲斐支援活動					
実施時期（予定）	平成20年6月1日～平成21年3月31日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	(1) 小冊子（A6版）＜生きがいて、なかに＞を1,000部作成する。 (2) 市民への配布先は市役所、福祉関連施設、保健所、学校、駅事務所、交番、地域センター等の公的機関 (3) 予防医学的な視点から狛江市民の精神衛生を向上させる。 (4) 生き甲斐の見つけ方、孤独死・自殺防止 (5) 生き甲斐の心理学をきちんと学ぶ契機を作りたい					

申込団体概要

団体名	特定非営利活動法人CULLカリタス カウンセリング学会					
代表者名	理事 植村 高雄					
所在地 （事務所等）	住所					
	TEL					
	FAX					
連絡責任者	氏名					
	住所					
	e-Mail					
会員数	正会員26、賛助会員45、総計71 人	会費等	無・●（●額・月額） 3,000 円			
主な活動地域	東京都、神奈川県、京都府、大分県、兵庫県		直近事業年度決算額 （支出総額）平成19年度	232,069 円		

主な活動実績	(1) 生き甲斐の心理学の勉強会（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）：講師7名により：勉強会回数：105回。伸べ市民参加者総数：261名： (2) 生き甲斐の心理学ホームページ：講師5名による：アクセス数総計：121、800名 (3) 当団体のホームページ：アクセス数累計3,900(昨年の累計数は2,000なので今年度分は約1,900となる)。	受 付 印
		

平成20年度 事業計画書

平成20年6月1日 から 平成21年3月31日まで

特定非営利活動法人CULL カリタス カウンセリング学会

- (1) 小冊子（A6版）＜生きがいて、なかに＞を1,000部作成する。
- (2) この小冊子の市民への配布手段・方法は下記の方々に協力要請をしながら実行する。
市役所、市内病院、民生委員、ヘルパーステーション、教育機関、交番・駅を配布対象とする。
- (3) この小冊子の内容は予防医学的な視点から粕江市民の精神衛生を向上させるように編集されている。
- (4) この効果は経験上、生き甲斐を求めている市民に、自分の生き甲斐を気付かせ、かつ、孤独死を防ぎ、自殺防止にも貢献できると確信しています。
- (5) 粕江市民に継続的に生き甲斐の心理学をきちんと学ぶ契機を作り生涯教育的に学習していただけるよう計画しています（市民協働事業として）。

(以上)

平成20年度特定非営利活動にかかる会計収支予算書

平成20年6月1日 から

平成21年3月31日まで

狛江市補助金新しい風事業: 狛江市民の生き甲斐支援活動

特定非営利活動法人CULL カリタス カウンセリング学会

(単位: 円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1 新しい風補助金	200,000	
収 入 合 計		200,000
II 支出の部		
1 事業費		
小冊子(A6版) 生きがいてなあに (1,000部: @¥150)	150,000	
2 市民ボランティア交通費 (@1,000円 x 15人)	15,000	
3 事業保険料	5,000	
4 会場使用料: @2,000円4回	8,000	
5 通信費: 病院・福祉・教育機関向け (40ヶ所)	22,000	
当期支出合計	200,000	200,000
当期収支差額		0

平成20年度特定非営利活動にかかる会計収支予算書

平成20年4月1日 から 平成21年3月31日まで

特定非営利活動法人CULL カリタス カウンセリング学会

(単位:円)

科 目	金	額
I 収入の部		
1 会費・入会金収入		
入会金収入	0	
会費収入	375,000	375,000
2 事業収入		
生き甲斐支援カウンセリング	0	
理論の研究	0	
地域での勉強会	525,000	525,000
情報提供事業		
ホームページ運営	0	
会報発行	0	
研究成果に基づく啓発書発行	0	0
3 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入	300,000	300,000
民間助成金収入	0	0
4 寄附金収入		
寄付金(つみたて:特別基金)	500,000	500,000
5 その他収入		
前期繰越金	327,166	327,166
6 その他の事業会計からの繰入		
当期収入合計		
収 入 合 計		2,027,166
II 支出の部		
1 事業費		
(1)生き甲斐支援カウンセリング		
理論の研究:教材の作成	0	
地域での勉強会	310,000	
情報提供事業		
ホームページ運営	60,000	
会報発行	60,000	
研究成果に基づく啓発書発行	0	
		430,000
2 管理費		
役員報酬		
給料手当		
旅費交通費	60,000	
地代家賃	12,000	
水熱水費	12,000	
事務消耗品費	27,000	
通信運搬費	23,000	
雑費	16,000	
租税公課	0	
外注費	0	
会議費	21,000	
販売促進費	0	
消耗品費	12,000	
研究開発費	12,000	195,000
3 予備費		
予備費	60,000	60,000
4 地方公共団体補助金		
狛江市役所新しい風	200,000	
八王子市役所勉強会	100,000	
		300,000
5 自殺防止活動費(全国)	1,000,000	1,000,000
当期支出合計	1,985,000	1,985,000
当期収支差額		1,985,000
次期繰越収支差額		42,166

平成20年5月12日

狛江市長 矢野 裕 様

団体名 狛江市指定文化財石井家住宅を記録にとどめる会

代表者名 井上 孝



市民公益活動事業補助申込書（平成20年度）

事業名称	狛江市指定文化財石井家住宅を記録にとどめる事業					
実施時期（予定）	平成20年6月1日～平成21年3月31日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	元和泉の旧家石井家住宅の主屋と長屋門、土蔵の3棟は、本年3月狛江市文化財に指定されました。当家は江戸時代中期以後和泉村松下領の名主を務め、主屋は江戸中期の武蔵野を代表する古民家で、長屋門は江戸後期、土蔵は明治初期の建物です。これらの建物は本年11月に国営昭和記念公園に譲渡・移築され、指定も解除されます。わずかな期間ですが、この文化財を市民の記録にとどめるため、見学会、講演会、展示会などを催します。					

申込団体概要

団体名	狛江市指定文化財石井家住宅を記録にとどめる会					
代表者名	井上 孝					
所在地 （事務所等）	住所					
	TEL					
	FAX					
連絡責任者	氏名					
	住所					
	e-Mail					
会員数	15 人		会費等	無・有 ☒ (年額・月額) 1,000 円		
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 (支出総額) 年度	円		
主な活動実績	この4月に発起人会を立ち上げ、これから会員を増やしていきます。					



狛江市指定文化財石井家住宅を記録にとどめる会 規約

第1条 会の名称

本会を「狛江市指定文化財石井家住宅を記録にとどめる会」と呼び、任意団体とする。

第2条 会の事務局

本会の事務局を狛江市内に置く。

第3条 会の目的・性格

本会は、既に移築が決まっている石井家住宅主屋及び付帯施設について、解体前に貴重な建築、民俗、歴史的価値を市民に、記憶に留めて貰うための諸活動を行う事を目的とする。

政治・宗教活動とは関わらない市民活動とする。

第4条 会員

本会は、会の目的に賛同する狛江市内在住の個人で構成する。

会員は所定の本会会費を納め、会合に出席するものとする。

第5条 会の活動

第3条の目的のため、本会は下記の活動を行う。

- ① 石井家住宅主屋及び付帯施設の記録。
- ② 石井家住宅主屋及び付帯施設の

公開。

- ③ 石井家住宅主屋及び付帯施設に係わる展示。
- ④ 石井家住宅主屋及び付帯施設に関わる講演。
- ⑤ その他必要なことがら

第6条 会合

会長は第5条の活動を推進するため、必要に応じ会合を召集する。

第7条 役員

本会に下記の役員をおく。

- ① 会長
- ② 事務局長（会計担当兼務）
- ③ 監査役

第8条 会計と会計年度

本会の収入は下記による。

- ① 会費：1,000円／年・人
- ② 寄付金
- ③ 補助金

会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

付則 この規約は2008年4月2日から施行する。

狛江市指定文化財・石井家住宅を記録にとどめる会

事業計画

1. 見学会

- | | |
|----------|--------|
| ① 解体前 | 10 月末 |
| ② 解体中 土蔵 | 11 月上旬 |
| ③ 主屋 | 11 月下旬 |
| ④ 長屋門 | 12 月下旬 |
| ⑤ 発掘調査 | 1 月下旬 |
2. 民具資料整理 10 月
3. お別れ会 10 月中旬
4. 昭和記念公園現場見学会 2 月中旬
5. 記念講演会 2～3 月上旬
6. 展示会 3 月中旬～1 週間
7. 調査概報の刊行 3 月下旬

予算計画

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 見学会 | 資料作成費 @5,000×6=30,000 円 |
| 2. 民具資料整理費 | 50,000 円 |
| 3. 昭和記念公園現場見学会 | お礼、資料代 10,000 円 |
| 4. 記念講演会 | 資料代 パネル作成費 10,000 円 |
| 5. 展示会 | パネル作成費、展示ケース 50,000 円 |
| | 運搬、その他 |
| 6. 調査概報印刷費（会員、関係者に配布） | 60,000 円 |
| 7. 通信費 | 10,000 円 |
| 8. 保険費 | 10,000 円 |
| 合計 | 230,000 円 |

会費

会員は会費 1,000 円を納める。

会員は石井家を記録にとどめるための公開事業に積極的に参加、協力すること。
但し、会員は各回の参加資料代は免除され、調査概報が配布される。

収 支 予 算 書

団体名 狛江市指定文化財

石井家住宅を記録にとどめる会

<収入の部>

項目	金額	内訳
新しい風補助金	200,000 円	
会 費	30,000 円	1,000 円×30 人
合 計	230,000 円	

<支出の部>

項目	金額	内訳
見学会資料作成費	30,000 円	@5,000 円×6 回
民具資料整理費	50,000 円	カメラ撮影、カード、台帳作成
昭和記念公園現場見学会	10,000 円	お礼、資料代
講演会資料作成費	10,000 円	パネル、資料作成費
展示会経費	50,000 円	パネル作成費、運搬諸経費、ポスター、チラシ作成費
調査概報編集・印刷経費	60,000 円	解体、発掘調査概報の編集・印刷
通信費	10,000 円	切手、はがき代、電話代
保険料	10,000 円	現場見学などの保険料
合計	230,000 円	

狛江市長 矢野 裕 様

団体名 アイ・ラブ・狛江

代表者名 大場 光子

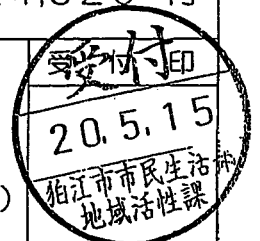


市民公益活動事業補助申込書（平成20年度）

事業名称	わが家の味を伝えよう～パパとママからわが子へ					
実施時期(予定)	平成20年9月～平成21年3月					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容	昨年度の新しい風補助金により「親子で学ぼう、楽しい食育」というテーマで事業を開催。学習と実践を交えた3回の事業では「食の安全性や重要性そして作って食べる楽しさを啓蒙する」という趣旨をアピールした。 今年度は更に実践をメインに料理実習を2回行う。ここでは「家庭の味を作ることを大切にしそれを伝えていくこと」に焦点を絞って食が家族のコミュニケーションを保つ大切な要素であることを体感させたい。また子育て支援という面では6回程度の相談会を設けて、離乳食や心の相談など個々のニーズに伝えていくことも行い、食育のネットワークを広げていきたい。					

申込団体概要

団体名	アイ・ラブ・狛江				
代表者名	おおば てるこ 大場 光子				
所在地 (事務所等)	住所				
	TEL				
	FAX				
連絡責任者	氏名				
	住所				
	e-mail				
会員数	10 人	会費等	無・㊦(年額・月額) 3,600 円		
主な活動地域	狛江市内	直近事業年度決算額 (支出総額)19年度	424,520 円		
主な活動実績	・ 狛江夏まつりに出店(18年7月、19年7月) ・ 市民まつりに出店(18年11月) ・ 新しい風補助金事業「親子で学ぼう、豊かな食育」にて講座を3回開講(19年9月、11月、20年1月)				



「わが家の味を伝えよう～パパとママからわが子へ」事業計画書

アイ・ラブ・狛江

＜企画概要＞

アイ・ラブ・狛江が発足して約3年経った。その間赤ちゃん料理教室、夏祭りや市民まつりなどイベントへの参加などさまざまな活動を通じて「食育」について模索してきた。そしてアイ・ラブ・狛江が考える「食育」のコンセプトは「理論を踏まえたうえで実生活での食事を重視し、子育て中の父親や母親がその大切さや楽しさを体験してそれを子どもに伝えていくことである」と確立した。

さて昨年度の新しい風補助金事業は「親子で学ぼう、楽しい食育」というテーマのもと、①第1回「新米パパ&ママのための栄養のおはなし」では食の安全性や環境問題というグローバルな視野での講義、②第2回「献立を作ってみよう～楽しい栄養ゲーム」では狛江栄養士会所属の栄養士によるゲーム形式の献立作り、③第3回「親子で作ろう～楽しくおいしいキッチンスタジオ」では料理研究家を招き家庭で気軽に作れる料理の実習、という3つの事業を展開。

おりしも環境問題やエコロジーそして食の安全性などが注目される時期に行ったことで、受講者には当団体の食育活動をよりアピールできたと思う。

そして今年度は昨年度の事業をさらに発展させるべく、実践すなわち料理実習を主な事業として展開する。それは「作って食べる」という単発イベント的なものではなく、食事作りや食事を通して家族に何を伝えられるかをテーマにしたい。

かつての日本ではほとんどの人が食卓を家族みんなで囲んだ。そこに生まれる親子のコミュニケーション。そしてその食卓にはたくさんの思い出が生まれた。台所では母から子へ家庭の味が伝えられた。今、こんな風景が忘れ去られている気がしてならない。旬を楽しんだり、料理のコツを覚えながら感じる「懐かしい食の風景」を、子育て真っ最中の方達に体感して欲しい。

2回の料理実習では昨年同様に託児室を設け、父親・母親が安心して受講できるようにする。また育児での悩みや困ったことなど、個々の相談に答える機会も数回設け、子育て支援に貢献したい。

これらの事業を通じて、より多くの人達が「食育」の大切さを自然に身につけられ、同時に狛江が「子育てをしやすい安全でやさしい町」として愛されることを願いつつ、食育のネットワークを広げていきたい。

<企画内容>

平成20年9月～平成20年3月の間で、下記の事業を行う。

(1) 講話と料理実習

①第1回「季節の食事を楽しみましょう」

日 時：平成20年9月予定

会 場：あいとぴあセンター 料理実習室（予定） *別室にて託児

対 象：子育て中の父親・母親

定 員：20名

参加費：500円（材料費）

内 容：わかりやすい栄養の講話

地元の産物を活用した栄養士の指導による季節料理の実習

大人向けの料理をアレンジした幼児食 など

②第2回「お料理のヒント、こっそり教えます。」

日 時：平成21年3月予定

会 場：あいとぴあセンター 料理実習室（予定） *別室にて託児

対 象：子育て中の父親・母親

定 員：20名

参加費：500円（材料費）

内 容：料理研究家と一緒にを行う料理実習

家庭で使える料理のヒントをプロが伝授

大人向けの料理をアレンジした幼児食 など

(2) 子育て相談カフェ

10月から月1回程度、特定の場所で子育て相談会を開催。

お茶とお菓子でゆったりとしたティータイムを楽しんでもらいながら、
専門家による離乳食相談や心の相談などを個々に受ける。

相談料として500円（茶菓付）

<告知方法>

①ポスター作製

それぞれの事業を掲載したポスターを作製し、市内各所に掲示。

②チラシ作製

ポスターに準じた内容でチラシを作成、配布

③「わっこ」に掲載

④会報誌への掲載

<講師および運営スタッフ>

料理実習（各回とも）

講 師：狛江栄養士会より栄養士 他

スタッフ：アイ・ラブ・狛江メンバー および アルバイト（託児等）数名
子育て相談カフェ

栄養士、心理カウンセラーなど専門家5～6名

*参考資料として下記を添付

①アイ・ラブ・狛江リーフレット

②平成19年度事業のチラシ（3種）

第3回事業の料理レシピ

第3回事業の新聞取材記事コピー

平成20年度 新しい風補助金対象事業

「わが家の味を伝えよう！～パパとママからわが子へ」 予算書

アイ・ラブ・狛江

<収入の部>

項 目	予算額	詳細
新しい風補助金	200,000	
参加費	30,000	事業参加費
合 計	230,000	

<支出の部>

項 目	予算額	詳細
会場費	36,000	会場使用料
講師料	100,000	料理実習講師、相談員
行事保険代	4,000	料理実習
通信費	3,000	ハガキ代、切手代
消耗品	2,000	備品（文具、料理道具等）
材料費	30,000	料理実習用食材費
印刷代	8,000	チラシ、ポスター、レシピ等
アルバイト代	40,000	託児、料理実習補助等
交通費	7,000	講師等交通費
合 計	230,000	

平成20年度 アイ・ラブ・狛江 予算書

<収入の部>

項目	予算額	昨年度(19年度)予算	詳細
繰越金	215,593	84,546	
会費	45,000	40,000	
イベント売上金	15,000	260,000	フリーマーケット他
補助金	200,000	200,000	新しい風補助金
参加費	30,000	30,000	新しい風補助金事業受講者参加料
店舗売上金	50,000	150,000	貸しスペースでの売上金
雑収入	4,407	15,454	
合計	560,000	780,000	

<支出の部>

項目		予算額	昨年度（１９年度）予算	詳細
イベント活動費	食材費・消耗品費	80,000	350,000	
	備品代	34,000	10,000	
	参加費	6,000	30,000	フリーマーケット他
	施設使用料	60,000	50,000	貸しスペース賃料
	講習会一式	230,000	230,000	新しい風補助金による講習会
	小計（A）	410,000	670,000	
宣伝活動費	通信費	23,000	5,000	切手代など
	印刷費	30,000	30,000	パンフレット、チラシ、資料等
	その他	50,000	0	会報誌発行費用
	小計（B）	103,000	35,000	
雑費	消耗品費	20,000	65,000	
	運賃	5,000	2,000	配送料・運搬料など
	交通費	5,000	2,000	視察交通費など
	その他	17,000	6,000	
	小計（C）	47,000	75,000	
合計(A)+(B)+(C)		560,000	780,000	

柏江市長

様

団体名 ひめしゃら塾

代表者名 野口 祥子



市民公益活動事業補助申込書（平成 20 年度）

事業名称	ひめしゃら塾舞踊公演「風の ^{ハスレ} 屋 ^カ 」
実施時期（予定）	平成20年7月19日(土), 20日(日)
交付要望額	2 0 0 0 0 0 円
事業内容 (事業の特色・期待される効果等)	ひめしゃら塾舞踊公演は今年で3回目になります。日本の文化や柏江の民話などを題材として舞踊作品を作ってきました。今回は、日本最古の書物である「古事記」から題材をとり、音と声と踊りの創作舞台を作り上げました。昨年は柏江市を中心にその近辺から500人近くの方々に観ていただき、楽しんでもらうことができました。 今事業もより多くの柏江市民の方々に観て喜んでもらい、柏江市の音楽、芸術、文化の向上に尽くしたいと思います。

申込団体概要

団体名	ひめしゃら塾		
代表者名	野口 祥子		
所在地 (事務所等)			
連絡責任者			
会員数	20 人	会費等	無・有(年額・月額) 円
主な活動地域	柏江市内	直近事業年度決算額 (支出総額) 19年度	前会(前年)舞踊公演 958,803 円
主な活動実績	○10年前より西河原公民館ホールで舞踊公演を行ってきた。「雪おんな」など ○5年前より毎年柏江むいから民家園で「舞いと語りと調べ」の会を行ってきた ○平成18年「いま、あらたな龍伝説がはじまる」(会場・泉龍寺)第1回目 ○平成19年「桜の下のバサラつぎ」(会場・泉龍寺)第2回目		受付印 20.5.16 柏江市市民生活部 地域活性課

すでにできているチラシを
添付いたします。

【ひめしやら塾舞踊公演】 企画書

1. 公演タイトル

【舞踊公演】

古事記より「風のムスヒ～イザナキとイザナミの物語～」

2. テーマと主旨

古事記をモチーフに泉龍寺における新たな物語を作りあげる。泉龍寺という類まれな立地と条件を活かす舞台に仕上げる。踊りと音楽と声の共演により、古事記を新しい切り口で舞台化する。

泉龍寺の近隣、狛江市民の多くの方々に文化・芸術としてこの舞踊公演を観ていただきたい。

3. 日時 2008年7月19日(土)、20(日) 雨天の場合 21日(祭日)に順延
午後7時より 開場 6時30分

4. 会場 狛江駅隣り・泉龍寺境内(鐘楼を中心に)

5. 主催 ひめしやら塾(主宰・野口祥子)

6. 制作 野口祥子 演出 飯田晃一

7. 出演 飯田晃一 加茂直明 中川敬文 野口祥子 エイキミア 小笠原幸介 佐藤ペチカ
入江淳子 柳原美香 すまこ・こせき 語り 小林弥栄子

8. スタッフ 舞台監督 呂師 美術 武田尋善 衣装 PUKU プロデュース 伊藤則子
協力 和紙デザイン・久光寧子 十二雅子 井山順子 竹島栄子 泉龍寺

9. チケット料金 2000円(中学生以下 無料) 当日 2500円

(掛かった経費を差し引いた収益は、被災地義援金にする。)

稽古日程

場所 だいたい上和泉地域センター、西河原公民館、野川地域センター、

※2月から稽古に入っている。以下のほかにも個別に稽古している。

4月20日(日) 10:00~17:00	未	(埼玉)	
4月27日(日) 10:00~17:00	未	(埼玉)	
4月29日(火・祭) 10:00~17:00	上和泉2階和室	野川ホール	
5月18日(日) 10:00~17:00	西河原ホール	野川ホール	
5月25日(日) 10:00~17:00	西河原ホール	野川ホール	
6月8日(日) 10:00~17:00	西河原ホール	野川ホール	上和泉2F和室
6月15日(日) 10:00~17:00	西河原ホール	野川ホール	
6月22日(日) 10:00~17:00	?		
6月29日(日) 10:00~17:00	西河原ホール	野川ホール	上和泉2F和室
7月06日(日) 10:00~17:00	()	()	
7月13日(日) 10:00~17:00	()	西河原ホール	西河原ホール

仕込み 泉龍寺で稽古

7月18日(金) 仕込み、夜、照明を入れてゲネ(出演者10:00集合)

19日(土) 本番 第1回目

20日(日) 第2回目 21日(月・祭) 予備日



七月十九日土・二十日日

【全二回公演】

◎開演：十九時（十八時三十分開場）

十九日雨天の場合は二十日へ。二十日が雨天の場合は二十一日（祭日）に順延。二十一日も雨天の場合は中止、払い戻しはいたしません。

（ムスヒ）
霊

アハサカ
境界の
イザナキと
イザナミ

◎会場：狛江市 泉龍寺境内

（小田急線 狛江駅北口下車徒歩三分）

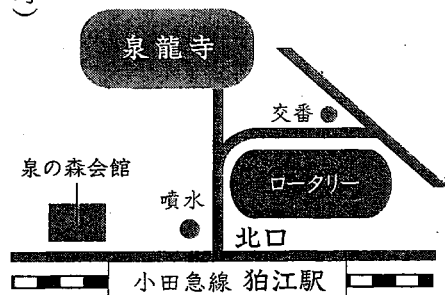
◎料金：（前売り）二千元（中学生以下無料）

（当日）二千五百円

◎チケット取り扱い

泉の森会館二階受付（狛江駅北口下車徒歩一分）

TEL=03-5497 444（受付Ⅱ午前十時～午後六時）



ひめしやら塾
舞踊公演

風の産霊

【公演日】平成二十年 七月十九日 田・二十日 田

※十九日雨天の場合は二十日へ。二十日が雨天の場合は二十一日(祭日)に順延。
二十一日も雨天の場合は中止、払い戻しはいたしません。

【開演】十九時(十六時三十分開場) 【会場】狛江市泉龍寺境内

【料金】(前売り)二千円(中学生以下無料)・(当日)二千五百円

【チケット取り扱い】泉の森会館二階受付(狛江駅北口下車徒歩一分)

TEL=03-5497-5444(受付=午前10時~午後六時)

【お問い合わせ】TEL/FAX=03-3480-4478(野口祥子)

TEL/FAX=03-3489-5464(小林弥栄子)



【やぶ蚊にご注意!!】境内には強力な蚊がたくさんいます。ご来場の際は、手や足なども覆える服装をお勧めいたします。また、ご自分に合った防虫スプレーや虫除け塗り薬などをご使用ください。

【演出】飯田晃一

呂師

【出演】野口祥子

【照明】泉龍寺

飯田晃一

【音響】しもだめぐみ

中川敬文

【美術】稲浦駿介

加茂直明

【衣装】武田尋善

エイキミア

PUKU

小笠原幸介

【プロデュース】伊藤則子

佐藤ペチカ

【協力】久光寧子(和紙デザイン)

入江淳子

【協力】久光寧子(和紙デザイン)

柳原美香

【協力】久光寧子(和紙デザイン)

すまこ・こせき

【協力】久光寧子(和紙デザイン)

小林弥栄子(語り)

久光寧子(和紙デザイン)

地域の方々の交流と地域文化発信の場
狛江駅前「泉の森会館」
多目的ホール・ギャラリー・喫茶・小会議室
ご利用のお申し込み/お問い合わせ
tel 03-5497-5444 fax 03-5497-5484

「古事記」から出発し、辿り着いた「もうひとつの世界」。
神話の世界が続いていたら? なぜ忘れてしまったのか?
いや、まだどこかでこの大切な響きが残っている。
耳を澄ませて、私の歌を聴いて。生命のうたげ今、ここで舞い起こる!

【泉龍寺舞踊公演について】

狛江駅前にある立派なお寺・泉龍寺での舞踊公演は今年で
三回目になります。

昔から、日本の芸能は神社やお寺が発祥の地で、地域の人々の生活や祭礼と結びつき、そこで神楽舞いや盆踊りなどを楽しんできました。私はかねがね、神社やお寺の境内から、再び、芸能、文化、芸術が発信できればよいと思っておりました。幸いに泉龍寺の住職さまもこのような趣旨に賛同いただき、計画が実現いたしました。

今回は、日本人の心のふるさとである古事記を題材として、泉龍寺という稀な立地条件を活かし、踊りと音楽と声の共演による創作舞台を作りました。

夏の夕刻より素敵な鐘楼の下でどのようなパフォーマンスが繰り広げられますか、ご期待ください。

——ひめしやら塾・野口祥子

ひめしやら塾ホームページ
<http://homepage3.nifty.com/himeshara/>



◎過去の泉龍寺での公演
上...いま、新たな龍伝説がはじまる
二〇〇六年(撮影=小沢吉一)
下...桜の樹の下のバサラつき
二〇〇七年(撮影=野口克也)

【ひめしやら塾 舞踊公演】 予算書

1. 収入

入場料金 2000円 (中学生以下 無料) 当日	2500円
入場者を350人と見積もって	2000×350 700,000円
「新しい風補助金」	200,000円
合計	900,000円

2. 支出

照明 (器材込み)	200,000	舞台監督	60,000
プロデューサー	20,000	音響 (PA+オペレーター)	120,000
チラシ作成	20,000	チラシ印刷	46,000
宣伝、郵送費など	30,000	衣装費	10,000
当日ビデオ写真撮影	30,000	美術	30,000
演出料	50,000	仮説電源・電気料	43,000
会場設営費	50,000	出演料	90,000
大道具・小道具材料	150,000		

合計 959,000円

3. 収支

収入	900,000円
支出	959,000円

マイナス 59,000円

マイナス額 59,000円については、

- ① 入場者が多くなれば、マイナス額は減少する。
- ② マイナス部分はひめしやら塾・野口祥子がカンパする
- ③ 利益が出た場合は被災地義援金にする。

144L 塾 2007年度 決算

収入

内訳

会費 160,000

2000X10ヶ月X8人分

計 160,000

支出

講師料 70,000

衣の小道具 20,000

広報費 20,000

会場費 15,000

雑費(郵送料他) 35,000

160,000

2008年度 予算

収入

内訳

会費 160,000

2000円X10ヶ月X8人分

計 160,000

支出

講師料 70,000

衣の小道具 20,000

広報費 20,000

会場費 15,000

雑費 35,000

計 160,000

平成20年5月19日

狛江市長 矢野 裕 様

団体名 和泉多摩川緑地都立公園化話し合い会

代表者名 稲田 幸一郎

印

市民公益活動事業補助申込書（平成20年度）

事業名称	和泉多摩川緑地ガイドマップの印刷と活用					
実施時期（予定）	平成20年6月から 平成21年3月まで					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	昨年度初めて「新しい風補助金」を受け、関係市民団体からのヒアリングと公園見学会やワークショップを行いながら、世田谷通りと和泉多摩川緑地地域のマップを作成し、「和泉多摩川緑地ガイドマップ」としてまとめた。今年度は、このガイドマップを印刷し、関係機関、団体、個人に向けて当会の目的である「和泉多摩川緑地」の都立防災公園事業化運動のために活用し、見学会、学習会などを催しながら、東京都に事業化要請の意思表示を行う。					

申込団体概要

団体名	和泉多摩川緑地都立公園化話し合い会		
代表者名	稲田 幸一郎		
所在地 （事務所等）			
連絡責任者			
会員数	48 人	会費等	無 有（年額・月額） 1,200 円
主な活動地域	狛江市内、小田急線沿線	直近事業年度決算額 （支出総額）平成19年度	154,000 円
主な活動実績	・都知事宛個人署名 10,025 筆、団体署名 147 筆提出 ・防災シンポジウム・ワークショップ開催 ・都立公園、防災公園見学会実施 ・和泉多摩川緑地ガイドマップを作成		



事業計画書

平成 20 年 5 月 19 日

和泉多摩川緑地都立公園化話し合い会

和泉多摩川緑地ガイドマップの印刷と活用

活動の目的及び方針

昨年度は「新しい風補助金」を受け、目標とした「和泉多摩川緑地ガイドマップ」を完成させた。このガイドマップは、和泉多摩川緑地に関連する歴史的経緯をはじめ、当地域内の資産と広域的位置付けとについて、防災問題を基本としながらも幅広いテーマでまとめたもので、広範囲の人々に理解を得られるよう配慮している。しかし、現状ではPCによる印刷のため安価な提供ができず、配布が拡大しにくい状況である。

平成20年度は、昨年に引き続き補助金を受けてこのガイドマップを印刷し、関係機関、団体、個人に無料あるいは安価で配布して当会の考えに理解を求め、目標の実現に役立たせたい。

配布先としては、これまでガイドマップ作成のために直接接触があった団体・個人宛て80部（これまでモノクロ版しか配布できていない）のほか、マスコミと防災問題、公園緑地問題などにかかわる関係機関、市民団体など、これまでに接触のなかった範囲にも配布先を拡大することを考え、500部のガイドマップ印刷を考えている。

東京都水道局の用地は、活用が求められているが、防災拠点として活用する意義がますます高まっていることを訴え、この土地を中心として東京都で防災公園を事業化することを訴え、そのために関係機関とともに地元狛江市も協力する体制を作ること検討したい。

活動の予定

本会の目的達成のために下記の活動を予定する。

- 1) 和泉多摩川緑地ガイドマップの印刷と配布
- 2) 都立防災公園類似事業の見学会開催
- 3) 都立防災公園関連学習会の開催
- 4) 関連する災害対策催し物への参加・協力
- 5) これらを背景に東京都への防災公園事業化要望の意思表示

収支予算書

平成 20 年 5 月 19 日

団体名 和泉多摩川緑地都立公園化話し合い会

＜収入の部＞

項目	金額	備考
新しい風補助金	200,000 円	
団体負担	20,000 円	
催し物参加費徴収	20,000 円	
計	240,000 円	

＜支出の部＞

項目	金額	備考
ガイドマップ印刷費	150,000 円	本冊・1 枚もの各 500 部
見学会・学習会費用	50,000 円	
事務用品・通信・印刷費	30,000 円	
会場借り上げ費・交通費	10,000 円	
計	240,000 円	

以上

収支予算書

平成 20 年 5 月 19 日

団体名 和泉多摩川緑地都立公園化話し合い会

<収入の部>

項目	金額	備考
新しい風補助金	200,000 円	
年会費	35,000 円	
催し物参加費徴収	20,000 円	
計	255,000 円	

<支出の部>

	項目	金額	備考
補助対象	ガイドマップ印刷費	150,000 円	本冊・1 枚もの各 500 部
	見学会・学習会費用	50,000 円	
	事務用品・通信・印刷費	30,000 円	
	会場借り上げ費・交通費	10,000 円	
	小計	240,000 円	
補助対象外	会議費	5,000 円	
	補助期間外経費	10,000 円	
	小計	15,000 円	
	合計	255,000 円	

以上

平成20年 5月 20日

狛江市長 矢野 裕 様

団体名 かわせみコンサート実行委員会

代表者名 神 原 章 造



市民公益活動事業補助申込書（平成20年度）

事業名称	かわせみコンサート				
実施時期（予定）	平成20年6月1日から 平成21年3月31日まで				
交付要望額	2	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	① 気軽に立寄れる手作りコンサート ② 地域の連帯を形成するための媒体としてのコンサート ③ 地域の社会福祉施設への支援 ④ 子供たち、子育て中の母親、高齢者への音楽との触れ合う場の提供。 ⑤ 音楽を通じた仲間づくりの支援。 以上を目標として、月2回のコンサート実施予定。				

申込団体概要

団体名	かわせみコンサート実行委員会			
代表者名	神 原 章 造			
所在地 （事務所等）				
連絡責任者				
会員数	12 人	会費等	無・有（年額・月額） 0 円	
主な活動地域	谷戸橋地区センター	直近事業年度決算額 （支出総額） 19年度	42万 円	
主な活動実績	平成17年度よりコンサート開催。 平成17年度：2回、平成18年度：5回、平成19年度：20回、平成20年度：4回実施済。子育て支援コンサート2回、社会福祉施設支援コンサート2回実施。チャリティ募金収益金は6回野川地区社会福祉施設へ寄付。			受付印 受付 20.5.20 狛江市市民生活部 地域活性課

かわせみコンサート 事業計画 1/2

平成20年(隔週の土、日)										
	6月		7月		8月		9月		10月	
Date	8日(昼の部)	24日	12日	26日	9日(夜の部)	23日	6日	20日	4日	18日
回数	32th	33th	34th	35th	36th	37th	38th	39th	40th	41th
TIME	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 6:00 Play(6:30-8:30)	Open 6:00 Play(6:30-8:30)	Open 6:00 Play(6:30-8:30)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)
ジャンル	JAZZ	カントリー & ウェスタン	Jazz & Pops	トーク & Jazz	ポップス	Hawaiian	Jazz	Hawaiian	Jazz & Pops	映画音楽集
タイトル	日本で 今一番暑い バンド	I Love Country	子育て支援 コンサート	健康トーク & Music	暑い夏を ふっ飛ばせ	真夏の夜の Hawaiian & Hula	過ぎ行く夏の 終わりに Jazz	ハワイアン 歌謡	秋の夜長に JAZZは如何	未決定
出演者	jaja	Country Stars & Dancers	畠山美津子 & 石田貴之	山口超禅 & Super Sax	オレンジ スプラッシュ	Hawaii Loa	TAKE5 & キーズバンド	Honey Mammies	今野美代子 と お友達	津村昌子 & 関根昌子
所属他	ホリプロ	成城学園 OB	かわせみ サウンズ	超禅 ヨガ教室	狛江 音楽連盟	かわせみ ホストバンド	世田谷 大人バンド フェスタ	世田谷 大人バンド フェスタ	東野川在住	西野川在住

昼の部

夜の部

”新しい風 補助金”申請理由

《コンサートの目的》

- ①市民の方々が良い音楽に接し、気軽に立ち寄れるコンサートを開催いたします。
 - ②チャリティーコンサートを継続し社会福祉施設への支援を行います
 - ③狛江の文化活動をここより発信し地域の連帯作りを促進し、高齢者にやさしく、子育てにも良い環境作りにも貢献します。
- これがかわせみコンサートの目的です。

《コンサートの現況》

月平均2回の手作りコンサートを実施、今年中25回は既に決まっております。
好意の寄付で音響設備を揃えましたがまだまだ備品等が不足の状態です。
現状では運営状況は赤字です。 打開策は集客数の増員が唯一の解決法です。

《自立の為の改善計画》

5月より”かわせみ便り”を作成し、ポスティングで集客数の増員を計る。(800枚)
チラシには広告スペースを取り、広告収入で印刷物等の費用を賄う。
「募金資金」と「新しい風補助金」で出演者の交通費等、その他の費用を賄う。
6月より広告スペースを広げ、部数の増刷等で集客数の増員を計る。(1,300枚)
以上の行動計画で現状の赤字運営から脱却を計り、自立の努力する。

《今度の方針》

『無料の会場で、無料の演奏家が演奏すれば、入場無料』これが私達の基本です。
現在その基本をもとにして誰もが出来るコンサート開催のマニュアルを作成中です。
各地域・地区センターで何時の日かコンサートが開催される日を心待ちしております。
これがわたくしたちに出来る”音楽の街・狛江”への参加です。
今後とも充実したコンサート作りに努力してまいります。

かわせみコンサート実行委員会

かわせみコンサート 事業計画 2/2

かわせみコンサート実行委員会

平成20年(隔週の土or日)				平成21年(第1、第3の土 or 日)				
11月		12月		21年1月(仮)	2月(仮)		3月《仮》	
3日	23日	6日	20日	20日	2日	16日	1日	15日
42th	43th	44th	45th	46th	47th	48th	49th	50th
Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)	Open 1:30 Play(2:00-4:00)
Hawaiian 、Country & Blues	Jazz & Blues	コーラス & クラシッ ク	南米音楽	Jazz	ブルース	iro-iro	Country Western	クラシック
3バンド競演 かわせみ 音楽祭	秋だ itsだ 大介だ	Christmas Concert	子育て支援 コンサート	New Year Concert	若者3人の ブルースマン	健常者 & 障害者 共生コンサ ート	Country Western	子育て支援 コンサート
Hawaii Loa Flomizu Wandaers Odds & Ends	its & 大介	聖歌隊他	sound cake	ムッシュ村井 バンド	Fromizu Wanders	えるぶ & 支援隊	Odds & Ends	山口真未 アンサンブル
狛江 音楽連盟	狛江 音楽連盟	狛江教会他	狛江在住	狛江 音楽連盟	世田谷	iro-iro	狛江 音楽連盟	桐朋OB

30

収 支 予 算 書

団体名 かわせみコンサート実行委員会

〈収入の部〉

	項 目	金 額	内 訳
1	新しい風補助金	200,000	
2	チャリティー	360,000	年間20回コンサート平均@18,000×20
3	プログラム広告料	120,000	年間10回
	合計	680,000	

〈支出の部〉

	項 目	金 額	内 訳
1	寄付	100,000	福祉施設@20,000×5
2	出演者車代	200,000	年間20回コンサート@10,000×20
3	出演者軽食代	60,000	年間20回コンサート@3,000×20
4	音響ミキシング	60,000	1回@3,000×20回
5	郵送料	10,000	出演者との連絡(ポスター等)
6	広告入り予告チラシ	100,000	年間10回 B5/A4 800～1000枚ポステイングほか
7	印刷・コピー代	40,000	ポスター他
8	場内・舞台他装飾	30,000	お花など
9	音響関係消耗品	50,000	コード類断線
10	その他消耗品	30,000	インクジェット他
	合計	680,000	

平成 20 年 5 月 20 日

狛江市長 矢野 裕 様

狛江・まちづくり市民会議

代表者名 村山善久 印



市民公益活動事業補助申込書(平成 20 年度)

事業名称	歩きたいまち—市民協同プロジェクト					
実施時期(予定)	2008 年 6 月 1 日～2009 年 3 月 31 日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 (事業の特色・期待される効果等)	狛江市都市計画マスタープランがいう「協働型まちづくりの推進」の一角を担うため、対象地域に選定した「八幡通り」周辺地域について、“歩きたいまち”をテーマに、まちづくり提案を地元住民ぐるみで作成するプロジェクトの3年目です。 1. 主旨・目的 私たちは、暮らしやすいまちが行政から一方的に与えられるものではなく、市民自らがまちづくりに関わることでこそ実現できると考え、高齢社会や子育てを応援する立場から、狛江の環境を生かした安全で快適なまちづくりをめざし、車型のまちから歩行者・自転車優先のまちへ転換をはかるべきとの思いで「歩きたいまち・狛江」の活動に取り組んできました。 2. 対象地域の選定理由 狛江市は、都市計画道路の未整備、昔の農道を中心とした狭隘な道路への通過車両進入などの課題が多く、“歩きたいまち”には程遠い現状にあります。 本プロジェクトでとり上げた市道「八幡通り」は、都市計画マスタープランでは野川と多摩川を結ぶ重要な「多機能型の生活幹線道路」と位置付けられ、歩行者や自転車が安心して利用できる道路、歩道・ポケットパーク等の設置、沿道緑化による緑のネットワークの形成、防災活動機能や景観の向上に向けて整備する路線とされています。またこの地域は広い農地や豊かな屋敷林等の連なりが見られ、市内でも優れた環境が残されている地域です。 しかし実際には、地域住民にとって利用頻度が非常に高いにもかかわらず、住民アンケート・当会の調査結果・地元 PTA などから危険性が指摘され、改善要望が高いところです。 3. これまでの取り組み ●2006 年度は、「八幡通り」周辺地域の環境、道路状況、交通量、および沿道の土地利用状況などの現地調査を実施し、さらに当該地域全世					

帯を対象とした住民意識調査(アンケート調査)を行ないました。安全性と快適性への要望が高い結果となっています。

●2007 年度は、前年度の課題であった地域住民との協働を具体化するため、住民が参加するワークショップを立ち上げ、八幡通りの改善策と一緒に検討していくことを重点に取り組みました。

新しい風補助金の選考委員会で「同じく補助金を受けた小足立平成会等と一緒に地域に広げていってはどうか」との助言を受け、八幡神社の納涼盆踊り大会に参加し、地域住民の方々と交流を深めました。地元団体・PTA とも直接お会いし、ワークショップ等への参加や協力を依頼しました。最大の成果は地域住民に呼びかけワークショップを 3 回開催できたことです。昨年実施した住民意識アンケート結果の概要説明と意見交換、住民の方々も交えた現地ウォッチングにより、危険箇所の確認と改善策についての検討を行いました。また市の学び講座「まちづくり」に申込み、住民と一緒に「八幡通りの位置づけと今後の方向性」について学習しました。自動車交通調査については緑野小 PTA の校外委員の参加もえて 2 回行いました。

こうした取り組みの結果を報告書『歩きたいまち・2007』としてまとめ、今年度以降の地域住民との協同作業、そして市民と行政の協働による“歩きたいまち”検討につなぐことができました。特に今回は、地域住民の方々がワークショップ等への参加を通してまちづくりを自らの問題として取り組むきっかけとなり、今年度住民の要望意見などを盛り込んで、安全で快適な八幡通りをめざす「歩きたいまち」提案に道筋をつけることができました。

4. 今年度の取り組み

●地域住民のワークショップによる検討

地域住民に参加を働きかけ、ワークショップとアンケート調査を行い、安全で快適な八幡通りをめざした「歩きたいまち」提案を練り上げていきます。その際関係行政機関からの支援をお願いしたいと考えます。

●八幡通り地域の主要な道路を念頭においた交通体系の提案

今年度は、まず八幡通りを中心とする主要な道路について交通体系システム素案を提案します。

●生活幹線道路のあり方への提案

道路構造・表示についての調査を行ったうえで、高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーの道を探るため、当事者に参加を呼びかけ、現地調査を行います。

●一部の道路空間環境についての具体的提案

八幡通り北部(小金橋南交差点付近の改良等)について交通調査や近隣住民の意見を反映した具体的提案を行います。

●コミュニティバス運行計画への提案・要望

本地域はバス利用不便地域にあたっており、住民アンケートでも要望が大きかったことから、11 月運行予定のコミュニティバスについて、運行ルート、停留所の位置・設備、休憩場所等について検討・要望を行っていく計画です。

申込団体概要

団体名	狛江・まちづくり市民会議		
代表者名	村山善久		
所在地 (事務所等)			
連絡責任者			
会員数	11 人	会費等	無・有(年額・月額) 1,000円
主な活動地域	狛江市内全域	直近事業年度決算額(支出総額) 平成19年度	208,854 円
主な活動実績	当会の前身《まちづくり市民会議ワイワイ》は 2001 年にスタートしています。「協働型まちづくりの推進」を掲げた狛江市都市計画マスタープランが、そのしくみを制度化するため「まちづくり条例の制定」を提言するとともに、それまでの間「市民によるまちづくりの検討の場」を設置するとうたっていることに呼応したものです。この会は、「条例づくり」「自転車にやさしいまち」「水路の復活」をめざす3チームに分かれ、3年間活動しました。 2004 年からは「自転車にやさしい街」をめざすチームのメンバーとなり、現在の会名に変更するとともに、まちづくり条例が制定される「テーマ型まちづくり協議会」として行政からの支援を受けつつ、検討テーマを「歩きたいまち」に設定して活動を進めています(別紙「フローチャート」参照)。 2004 年度は狛江市全域の基本構想に取り組みました。 2005 年度からは地域を絞り、上和泉通り・八幡通りを取り上げ、緑野小前の上和泉通りについて具体的な改善提案を行いました。 2006 年度からは「歩きたいまち—市民協同プロジェクト」として市民公益活動事業補助対象に採択され、都市計画マスタープランが「多機能型の生活幹線道路」として位置づけている市道「八幡通り」の周辺に絞り込んで、「歩きたいまち」実現に向けた具体的なまちづくり提案を行うよう、調査・検討作業を続けています。 2006 年度は対象地域の住民意識アンケート調査を実施しました。2007 年度はワークショップを開催する等地域住民との協働を進めました。(詳細は「これまでの取り組み」の項参照)		受付印 2015.20 狛江市市民生活部 地域活性化課

5. 期待される効果

ひとつは狛江市まちづくり条例に盛り込まれた、市民が主体的に取り組んだまちづくりの大きな実績となります。また、ワークショップ方式により、地元住民ぐるみで現地調査や検討を行なって、提案内容を練り上げてゆく作業を通して、対象地区において市民のまちづくりへの関心を高めるとともに、市民自身がまちづくりに主体的に取り組む呼び水となり、提案内容を実現していく原動力になると考えます。

もうひとつは、地元住民が参加するワークショップの場に市行政所管職員を、例え「アドバイザー」の位置付けであったとしても参加してもらうことにより、本プロジェクトの成果である提案内容を実現していく道筋・手法を市民と職員が協力して探ってゆくことが可能になりますし、「協働型まちづくり」を担う職員の養成や意識改革にも効果が期待されます。

歩きたいまち—市民協同プロジェクト事業計画書

実 施 項 目	お も な 内 容 ・ 作 業 等
△対象地域	△市道「八幡通り」の東西周辺、和泉本町3丁目の一部、西野川1～4丁目の約1.2k㎡、約3,000世帯を対象地域として選定する。
△八幡通り地域の交通体系素案提案	△八幡通りを中心とする主要な道路について交通体系素案を提案する。
△ワークショップへの参加依頼文書を作成、配布	△仮称「八幡通りを歩きたい道に！ワークショップ」への参加を呼びかける文書を作成し、対象地域の町会・地域団体・PTA等に配布する。約2,000部作成。
△「生活幹線道路のあり方」についての提案	△事前調査：道路構造、表示などについて実地調査を行い、危険箇所等を記録する。
△現地での聞き取り、簡易アンケート等の実施	△高齢者や障害者（車椅子利用者）等へ配慮したバリアフリーの道について当事者を交えた現地ウオッチングを行い、危険箇所等を記録する。
△小金橋南交差点付近改善策について、周辺住民やせせらぎ公園を利用している母親等へ聞き取りないし簡易アンケートを行う。	△小金橋南交差点付近の交通量調査を実施する
△住民とともにワークショップを開催し、「歩きたいまち・狛江」提案を検討・作成	△仮称「八幡通りを歩きたい道に！ワークショップ」を複数回開催し、「歩きたいまち・狛江」提案を地域住民とともに練り上げていく。
△「歩きたいまち・狛江」素案及び説明・意見交換会への参加依頼文書を作成・配布	△「歩きたいまち・狛江」素案及び説明・意見交換会への参加を呼びかける文書を作成し、八幡通り北部地域全世帯、および対象地域の町会・地域団体・PTA等に配布する。約2,000部作成。
△「歩きたいまち・狛江」素案の説明・意見交換会の開催	△「歩きたいまち・狛江」素案の説明・意見交換会を開催し、出された意見・要望については、できるだけ最終案に盛り込むよう努める。
△コミュニティ・バスについて	△11月に運行予定のコミュニティ・バスについて、ルート、停留所、休憩場所等について検討し、狛江市に要望していく。
△今年度の活動報告書作成	△今年度の活動報告書を作成する。

検討・提案のプロセス

●歩きたいまち構想検討

2004 年度検討

① みちづくりのための条件整理
環境調査(自然環境・土地利用・歴史性)
既存データ活用(地域上位条件、交通調査等)

②”歩きたいまち“のイメージ共有
環境として共有するイメージづくり
(言葉・空間・事例等)

③みちの性格づけ
広域条件を踏まえた性格づけ
(都市計画道路・既存道路等)

④全域基本構想検討(みちを主体とする)
都市計画道路の仕分け
既存道路の性格と活用
全域の構想検討・立案

⑤構想と確認・一部イメージ検討
主要提案部現況調査
課題整理

●上和泉・八幡通りの調査

2005 年度検討

⑥対象路線交通量調査
自動車・自転車・歩行者

⑦緊急対象路線の現地調査
上和泉通り一部・八幡通り
環境、土地利用等

⑧事例調査
歩車共存道路
環境道路

日大交通量調査
中心地区の主要幹線調査
(松原通り・狛江通り
世田谷通り・イチョウ通り)

⑨イメージ展開検討
上和泉通りの一部

●八幡通りを中心とした地区まちづくり検討

2006 年度検討

松原通り開通による影響
調査
元和泉地区住民調査を含む

⑩和泉本町3丁目
西野川1～4丁目を対象とし
たアンケート調査

⑪八幡通り一帯の道路実踏
危険箇所、自然環境
土地利用、防災上の条件

●安全で快適な八幡通りをめざして

2007 年度検討

⑫ワークショップの参加呼びかけ
地元団体・住民・PTA
調査結果と説明
地元住民との意見交換

⑬ナンバープレート調査・地点速度調査

⑭危険箇所ウォッチングおよび
改善試案

2008 年度へ

歩きたいまち—市民協同プロジェクト収支予算書

収入の部

費 目	説 明	金 額
新しい風補助金		200,000円
会費収入	@1,000×11人	11,000円
寄付金		20,000円
雑収入	盆踊り大会出店収益	20,000円
合計		251,000円

支出の部

費 目	説 明	金 額
会議費	野川地域センター大会議室使用料 @500×6回	3,000円
	プロジェクター使用料 @1,000×3回	3,000円
作業スペース費	作業用スペース使用料 @1,000×3時間×20回	60,000円
	作業資料保管費 @3,000×10月分(6~3月)	30,000円
印刷・複写費	ワークショップ参加およびかけ文書作成 (A3版両面白黒) @25×2,000枚	50,000円
	「歩きたいまち素案」及び説明・意見交換会および かけ文書作成(A3版両面白黒) @25×2,000枚	50,000円
	活動報告書複写費(部分的にカラー) @500×40部	20,000円
	作業用資料等コピー代	18,000円
文房具費	ワークショップ等消耗品	10,000円
通信費	連絡用郵券	2,000円
参加費	盆踊り大会出店代	5,000円
合計		251,000円

平成 20 年 5 月 20 日

狛江市長 矢野 裕 様

団体名 NPO 柔法

代表者名 鳥居 伸次



市民公益活動事業補助申込書（平成 20 年度）

事業名称	体質別護身健康法					
実施時期（予定）	2008 年 6 月 1 日～2009 年 3 月 31 日					
交付要望額	1	5	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	NPO 柔法は、独自の体質判別方法に基づく所作（姿勢、呼吸、動作）の普及を通じ、不特定多数の個人の健康維持・増進に寄与する団体として、1999 年に創設しました。自分の体質にあった所作を知れば、日常生活や他のスポーツにも活用できます。また、ゆっくりとした呼吸に合わせて行う「ゆるめ運動」は、高齢者でも無理なく行え、心身ともにリラックスできると好評です。現在、NPO 柔法（新宿）と柔法相塾（三島）のみで指導しているため、新宿には飯山（長野）、高崎（群馬）、草加（埼玉）など遠方の会員も在籍しています。狛江市に事務所を移転した縁もあり、狛江市民が地元で気軽に参加でき、柔法が市民の健康に貢献する場が設けられれば幸いです。					

申込団体概要

団体名	NPO 柔法		
代表者名	鳥居 伸次		
所在地 （事務所）	住所		
	TEL		
	FAX		
連絡責任者	氏名		
	住所		
	e-mail		
会員数	30 人	会費等	有（月額） 3,000 円
主な活動地域	新宿区内	前年度決算額 （支出総額）	43,700 円
主な活動実績	1999-2003 練馬区桜台体育館にて体質別武道指導 2000-2004 新宿区 NPO 柔法にて体質別健康護身法指導 2004- 新宿区四谷地域センターにて体質別護身健康法指導 2008- 新宿区角筈地域センターにて体質別護身健康法指導		受付 20.5.20 狛江市市民生活部 地域活性課

普及目標

順位	重点事項	目標	スケジュール													関連事項達成条件	担当	指示事項
			区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1	補助金申請	5月中	予定	→												狛江市の選考通過	浅輪	
			実施															
2	会場確保	月3回	予定			→										社会教育団体承認	浅輪	
			実施															
3	広報	6月中	予定			→										あらゆる媒体活用	浅輪	
			実施															
4	講座運営	月3回	予定			→										会場の安定確保	師範3名	
			実施															
5	事業報告	5月中	予定												→	関連書類作成	浅輪	
			実施															
備考	- 普及推進には組織的な活動が必要であるので、役割分担を明確にし、責任と権限を委譲する - 必要により外部有識者の指導援助を受け入れ、柔法を急速に浮上させる - 事業運営は、PDCA (Plan, Do, Check, Action) サイクルを繰り返しつつ向上させていく																	

2008 年度

収 入 計 画 (実 績)

(単位千円)

区 分		～9月		～12月		～3月		合 計		差 異	備 考
		予 算	実 績	予 算	実 績	予 算	実 績	予 算	実 績		
武 術	常設道場指導 出張指導 合宿指導 競技大会 計										
医 術	形体法講座 気功指圧講座 引力操法講座 実践医術教室 計										
健 康 法	引力気功講座 形導術講座 小周天講座 柔法健康教室 計	70 70		40 40		45 45		155 155			
合 計		70		40		45		155			

※補助金を除く

2008 年度

収 支 計 画 (実 績)

(単位千円)

区 分		～9月		～12月		～3月		合 計		差 異	備 考
		予 算	実 績	予 算	実 績	予 算	実 績	予 算	実 績		
武 術	収 入 支 出 差 引										
医 術	収 入 支 出 差 引										
健 康 法	支 入 支 出 差 引	70,0 188,9 △118,9		40,0 58,0 △18,0		45,0 58,0 △13,0		155,0 304,9 △149,9			
合 計	支 出 差 引 収 入	70,0 188,9 △118,9		40,0 58,0 △18,0		45,0 58,0 △13,0		155,0 304,9 △149,9			

※補助金を除く

2008年度 特定非営利活動にかかる事業 会計収支予算書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

特定非営利活動法人 柔法

(単位: 円)

科 目	金 額		
I 収入の部			
1. 入会金・会費収入			
入会金	24,000		
会 費	230,000		
		254,000	
2. 他			
寄付金	3,000		
補助金	150,000		
利 息	600		
		153,600	
当期収入合計 (A)			407,600
前期繰越収支差額			387,197
収入合計 (B)			794,797
II 支出の部			
1. 事業費			
交通費	62,000		
会場費	60,000		
通信費	5,000		
		127,000	
2. 広告費			
折込広告	125,000		
地域情報誌	134,000		
Web 広告	9,000		
		268,000	
3. 維持・管理費			
雑 費	7,000		
		7,000	
当期支出合計 (C)			402,000
当期収支差額 (A) - (C)			5,600
次期繰越収支差額 (B) - (C)			392,797

2008年度 護身健康法事業 (狛江市) 会計収支予算書

2008年6月1日から2009年3月31日まで

特定非営利活動法人 柔法

(単位: 円)

科 目	金 額		
I 収入の部			
1. 入会金・会費収入			
入会金	20,000		
会 費	135,000		
		155,000	
2. 他			
寄付金	0		
補助金	150,000		
		150,000	
当期収入合計 (A)			305,000
前期繰越収支差額			0
収入合計 (B)			305,000
II 支出の部			
1. 事業費			
交通費	32,000		
会場費	18,900		
通信費	1,500		
		52,400	
2. 広告費			
折込広告	125,000		
地域情報誌	118,000		
Web 広告	4,500		
		247,500	
3. 雑費	5,000		
		5,000	
当期支出合計 (C)			304,900
当期収支差額 (A) - (C)			100
次期繰越収支差額 (B) - (C)			100

平成 20 年 5 月 20 日

狛江市長 矢野 裕 様

団体名 NPO 狛江まちづくり市民フォーラム

代表者名 北川 隆吉



市民公益活動事業補助申込書（平成 20 年度）

事業名称	首都直下型地震を想定した狛江市民の意識調査					
実施時期（予定）	平成 20 年 7 月 1 日から平成 21 年 3 月 30 日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	大型地震を想定した東京都及び狛江市の防災計画のもと、震災時の対策が公共施設の増強を主体に改善が進められ、発災時の人命、物質、経済的損失を減少させることが関心事となっている。これらに対する狛江市民の意識調査を行い、安全確保の手法を検討し、関係者への情報提供資料を作成する。 市民の地域特性、年代層別、家族構成等の面から防災意識、発災後の避難行動などを具体的に把握することで、今後の市民・行政相互の具体的防災指針と行動マニュアルの参考資料が得られる。					

申込団体概要

団体名	NPO 狛江まちづくり市民フォーラム					
代表者名	北川 隆吉					
所在地 （事務所等）						
連絡責任者						
会員数	11 人	会費等	無・金 額	月額）	6000 円	
主な活動地域	狛江市内	直近事業年度決算額 （支出総額）	年度	平成 20 年 4 月 7 日認定のため未完	円	
主な活動実績	市民公開講座（防災・教育関係）随時開催 防災用品アンケート調査 活動情報誌「狛江まちだより」（隔月発行） NPO 法人認証（H20 年 4 月） 〈別紙資料添付〉					

首都直下型地震を想定した狛江市民の意識調査

事業計画書

1. 事業内容

大型地震を想定した東京都及び狛江市の防災計画のもと、震災時の対策が公共施設の増強を主体に改善が進められ、発災時の人命、物質、経済的損失を減少させることが関心事となっている。これらに対する狛江市民の意識調査を行い、安全確保の手法を検討し、関係者への情報提供資料を作成する。

市民の地域特性、年代層別、家族構成等の面から防災意識、発災後の避難行動などを具体的に把握することで、今後の市民・行政相互の具体的防災指針と行動マニュアル等今後の安全確保の手法を検討する上での参考資料が得られる。

2. 調査の大綱

震災時の対応に対する発災時の生活実態の想定に対する年代層別の分布を調査する。

- ①発災時間と避難行動、
- ②防災意識と可能な対応性、
- ③安全施設の充足度等を調査。

今後の当市の防災活動および施設（建物、交通等）改善に対する参考資料を提供するとともに、市民への防災活動に関する普及啓発を図る。

3. 調査の進め方

- (1) 狛江市民の防災意識を、継続的・地域的にあきらかにすること
- (2) 調査は、地域 階層 個人のキャリアー（とくに居住環境）の諸要因、時間的要素も含めて明らかにする
- (3) 調査は、本 NPO を中心に市役所、専門家、学生などの調査員に協力等をお願いし、市民活動の一環として行う。
- (4) 調査は具体的に
 - a) 地域調査
 - b) いくつかの地域を選定（資料などによって検討する）
 - (イ) アンケート方式（約 200case）による数量化を主軸とする量的調査
 - (ロ) インタビュー方式によるデプス調査を進め、市民生活と結びつけた調査を広く行う（Case は 30 程度）
 - (ハ) 狛江市の歴史・生活構造などの資料を集め専門家の協力を得て、総合的に進める。

当面、数年の継続的実態調査に基づき、市役所と協力しての防災対策の在り方について総合的検討に 1～2 年をかけ、本テーマに取り組みたい。こうした継続的・系統的調査、市民生活についての政策、対策の構成を含めた取り組みが、今後強く求められるであろう。その一つの先駆的取り組みとして本調査を位置づけたい。

収支予算書

団体名 NPO狛江まちづくり市民フォーラム

〈収入の部〉

項 目	金 額	内 訳
新しい風補助金	200,000	
NPO本予算	70,000	NPO事業費計上金繰り入れ
合計	270,000	

〈支出の部〉

項 目	金 額	内 訳
報告書作成・印刷費	105,000	調査集計、分析結果報告書印刷
調査員謝礼	50,000	調査員10名×5,000円
専門家(学識者)謝礼	9,000	調査書設計及び分析3名×3,000円
通信費	46,000	調査書送付・葉書切手
印刷費	50,000	調査用紙、広報資料、封筒等印刷代、
予備費	10,000	
合計	270,000	

平成20年5月20日

柏江市長 矢野 裕 様

団体名 特定非営利活動法人 ひよこぐさ

代表者名 高島 俊子 

市民公益活動事業補助申込書（平成20年度）

事業名称	ひよこぐさ 出前 ゆり ゆり （勇気 遊 悠久）					
実施時期（予定）	20年 6月より 21年 3月まで 5回					
交付要望額	1	7	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	ひよこぐさの理念である地域の支え合いの視点から様々の活動者、団体機関と連携しながら、住民相互の活生化を目指して行きます。明るい生きた街づくりに尽力し、柏江に住んで良かったと思える楽しいコミュニティづくりに寄与していきます。					

申込団体概要

団体名	特定非営利活動法人 ひよこぐさ		
代表者名	高島 俊子		
所在地 （事務所等）			
連絡責任者			
会員数	10 人	会費等	無・有（年額・月額） 1,000 円
主な活動地域	柏江市	直近事業年度決算額 （支出総額） 19 年度	10,252,125 円
主な活動実績	柏江市内全域を活動の場所として住民参加型在宅福祉サービス事業を展開してきた。高齢者・障がい者・子育て中の方、その他の在宅生活に支障をきたしている方等の支え合いを通じ、コミュニティづくりを進めることが出来た。又介護保険事業もあわせて実施し、総合的な支援を行うことが出来た。		



ひよこぐさ出前ゆうゆう収支予算書

収入の部

項目	金額	内訳
新しい風補助金	170,000	30,000 × 5回 + 20,000 (消耗品その他)

支出の部

項目	金額	内訳
講師・出演者謝礼	75,000	15,000 × 5回
お抹茶・茶菓子	45,000	お抹茶3,000 × 5缶・お菓子200 × 30 × 5
印刷・コピー代	25,000	ビラ・歌詞カード5,000 × 5
消耗品・通信費・雑費	20,000	懐紙・事務用品
会場使用料・設営準備代	5,000	みんなの広場 (3時間)
合計	170,000	

『具体的活動』

ミュージシャンによる楽器演奏（オカリナ、ピアノ、アコーディオン等）
歌手及合唱でリクエストして頂きますが、漠然としたものではなく
例えばお誕生日の人が当日参加していたら、全員で
ハッピーバースデーを唱え、祝い、歌に因み思い出を引き出す。
語り掛けをし、全体の場を一つに成る雰囲気を目指します。
お茶（お抹茶）とお菓子を頂きながら、日本の伝統文化に
ふれ、調和の必要性をさりげなく語る。

腹話術を取り入れ、場の潤滑油にして行きます。

上記の活動先（5件）

- 。ひととき ジャズシンガー 今野美代子さん
- 。シルバーピア（2件） オカリナ演奏
- 。共生の家 ピアノ 岡本さん
- 。みんなの広場 宮崎さん

平成 20 年 5 月 20 日

狛江市長 矢野 裕 様

特定非営利活動法人

団体名 バリアフリーセンター・福祉ネット「ナナの家」

代表者名 皆河 える子



市民公益活動事業補助申込書（平成 20 年度）

事業名称	NPO法人福祉ネット「ナナの家」10周年記念事業 多摩川乗馬会の基盤整備					
実施時期（予定）	平成 20 年 9 月					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	お蔭様で、福祉ネット「ナナの家」の活動も、今年で 10 年目を迎え、その交流活動の中心である多摩川乗馬会は 41 回目を迎えます。多摩川乗馬会では障害者や小さなお子さん、誰もが安心して馬やさまざまな出し物を楽しめるように準備しています。昨年は移動マウンテンランプも完成し、より豊かな交流が期待されます。今回は宣伝のためののぼりとミニ看板、10 年の間に破損したテントとテーブルなどの基盤整備を行いたいと思い、応募させていただきました。					

申込団体概要

団体名	特定非営利活動法人 バリアフリーセンター・福祉ネット「ナナの家」				
代表者名	皆河える子				
所在地 （事務所等）					
連絡責任者					
会員数	80 人	会費等	無（ 定額 月額）		2000 円
主な活動 地域	狛江市、目黒区他	直近事業年度決算額 （支出総額） 19 年度	27,377,096 円		
主な活動実績	障害者（児）の地域生活サポート。地域サービス事業（言語・音楽・乗馬療法、放課後活動“放課後わいわい”、やりたいこと支援）。交流事業（多摩川乗馬会、車椅子サッカー、NGO 映画祭）、家族サポート事業（気功法、鍼灸）。緊急一時保護施設（狛江市委託）。				

平成20年度施設別収支予算（総会用）

1 事業会計

施設名 福祉 ネット「ナナの家」

区分	科 目	予 算 額	備 考
収入	収入計	15,852,000	(前年度繰越金含まず)
	補助金	9,387,000	狛江市より
	寄付金	700,000	
	利用者負担金	2,850,000	会費・年会費・緊急一時
	事業収入	1,800,000	乗馬会・ちょこボラ
	雑収入	15,000	
	その他補助金	1,100,000	真如苑・新しい風他
	借入金		
	前年度繰越金	△3,623,765	
支出	支出計	15,852,000	(本年度繰越金含まず)
	補助対象経費計	12,341,000	
	事業費計	12,321,000	
	人件費計	5,450,000	
	役員報酬	-	
	給料	3,200,000	常勤職員
	職員手当		
	法定福利費	50,000	
	報酬	2,200,000	非常勤職員給料
	旅費	115,000	
	役務費		
	使用料及び賃借料	565,000	
	教育研修	50,000	
	福利厚生	250,000	
	消耗品費	550,000	
	光熱水費	250,000	
	修繕費	200,000	
	地代家賃	1,956,000	
	通信費	400,000	
	指導用材料費	150,000	
	事務用品費	100,000	
	その他経費	2,400,000	
	通所者交通費		
	賠償責任保険加入費	20,000	
	開設準備経費		
	補助対象外経費	3,511,000	(本年度繰越金含まず)
	その他の経費	2,241,000	乗馬会・ちょこボラ等
	食糧費		
	慶弔費		
	法人税等	70,000	
	借入金返済	1,200,000	
	次年度繰越金	△2,423,765	

2008年多摩川乗馬会予算

収入		(単位：円)
助成金		備 考
あいとぴあ	100,000	
新しい風	200,000	
他	300,000	
寄付金	10,000	
事業収入		
引き馬	175,000	500円×350人
レッスン	24,000	3000円×8人
ふれあい動物	40,000	100円×400人
えさ	30,000	100円×300人
フリマ	20,000	1000円×20
外部屋台		
ナナ屋台	200,000	
ナナバザー	5,000	
会からの補填	93,440	ちょこボラ販売他
合 計	1,197,440	

支出		(単位：円)
支払い報酬		備 考
ライブ	20,000	
風船大道芸	4,000	
わら馬会	50,000	
他	50,000	
会議費	10,000	
レンタル費		
トラック	34,000	
プロパンガス	12,000	
動物レンタル料		
木曽馬・3頭	200,000	紅葉台木曽馬牧場
消費税	10,000	
ふれあい動物一式	180,000	川崎市福田牧場
消費税	9,000	
仕入れ費用(屋台)	240,000	焼そば、フランク、ドリンク
事務用品費	25,000	
印刷費	30,000	ポスター800枚、ちらし8000枚
消耗品費	30,000	草刈り機他
基盤整備費	273,440	のぼり、ミニ看板、テント、机
通信費	20,000	
合 計	1,197,440	

2008年多摩川乗馬会
基盤整備予算詳細

	円	内 訳	用 途
のぼり制作費	109,800	のぼり1190円×30、2色刷り	宣伝、誘導
		ポール&注水台1500円×10	
		ポール1ケース345円×20	
		くい型ポール立て2610円×20	
Qセットタープ	11,800		お昼のライブ用テント
バックヤードシェード	59,200	14800円×4	受付、新しい木エコーナーのテント
四つ折りテーブル	61,950	12390円×5	屋台、受付
カフェテーブル	12,840	4280円×3	休憩所
フロアーユニスタンド	17,850	3570円×5	駐車禁止、車椅子とトイレ誘導他
合 計	273,440		

多摩川乗馬会

●障害者と一緒に乗馬!●

引き馬
屋 台
KIDSコーナー
風船のお兄さん
フリーマーケット
お昼のライブ



会場:多摩川河川敷
(小田急線 和泉多摩川駅下車)
10:00~15:00
*雨天中止

*引き馬 1周500円 *ふれあい動物園入場料 AM100円 *乗馬グループ会員募集中!
PM100円 障害者乗馬インストラクターの指導あり

フリマ・屋台出店者募集! *フリマ出店料1000円
*屋台出店料3000円(狛江市在住在勤者に限る)

2008年開催日

第41回多摩川乗馬会「こま祭」

第42回多摩川乗馬会

9/21(日)

11/2(日)

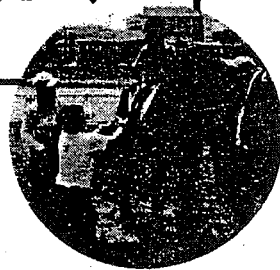
*開催時間「こま祭」のみ10:00~15:30

主催:NPO法人福祉ネット「ナナの家」〒201-0014狛江市東和泉1-27-9

後援:(予定: 狛江市/狛江市教育委員会/狛江市社会福祉協議会)

協力:紅葉台木曾馬牧場/福田牧場/和泉園

Tel 03-5438-2773 Fax03-5438-2774



ボランティア大募集!

～違いを認め合う社会を求めて～

ナナの家からのメッセージ

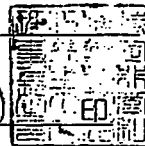
福祉ネット「ナナの家」は狛江を拠点に活動するNPO団体です。
この多摩川乗馬会は障害を持つ人も持たない人も楽しみの中で交流して欲しい・・・
そんな願いを込めて開催しています。

平成 20 年 5 月 20 日

狛江市長 矢野 裕 様

団体名 NPO 法人狛江共生の家

代表者名 河西 信美



市民公益活動事業補助申込書（平成 20 年度）

事業名称	地域の力推進事業				
実施時期（予定）	6月から21年3月まで、企画ごとに実施時期を決める				
交付要望額	2	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	NPO 法人狛江共生の家の目的は、広く一般市民を対象に主として狛江の一人暮らし高齢者のための「地域共生の家」をつくり、そこを拠点として入居者や地域の人々の日常生活や緊急時の支援などを、地域の人々と共に行うことによって、地域の力を高め、少子高齢時代にふさわしい安心して豊かなコミュニティを基盤とする社会を構築していくことです。そのための事業を「地域の力推進事業」と呼び、目的達成に向けた諸講習会、教室などを、近隣住民、一般市民に呼びかけ、参加していただく計画です。				

申込団体概要

団体名	非営利特定活動法人狛江共生の家				
代表者名	河西 信美				
所在地 （事務所等）					
連絡責任者					
会員数	20	人	会費等	無・有（年額・月額）	5千、2千 円
主な活動地域	狛江市内	直近事業年度決算額 （支出総額）	年度	— 円	
主な活動実績	19年9月に開所。10月25日に法人認証を受ける。目的達成のために、①入居者のための居住支援事業 ②食事提供事業のほかに、③地域の力推進事業を展開し、③は広く市民を対象にした活動を9回実施し、193名の参加があった。				

20年度「地域の力推進事業」計画案

NPO 法人狛江共生の家

狛江共生の家「多麻」の1階コミュニティサロンを使用して、各種教室・講習会・イベントを企画・開催します。

この活動を通じ、地域の皆さんとの交流・親睦を深め、住民が相互に支え合う「地域の力」を醸成し、高齢者が安心・安全・快適な暮らしを営むことが可能な地域社会を築くことに貢献することを、目的としています。

1. 食べることを通して地域交流（講習会）			
① 洋菓子づくり	近隣住民	20名	3回（11月、12月、3月）
② 和菓子づくり	一般市民	20名	2回（10月、12月）
③ 「子どもがクック」 食育の会	小学生	15名	3回（8月、12月、3月）
2. 世代を越えて交流・親睦（イベント）			
① バーベキュー大会	近隣住民	3～40名	夏休み
3. 健康で安心の地域の暮らし（勉強会）			
① 介護保険サービスで 自立支援	近隣住民	20名	1回
② 訪問診療を助けよう	近隣住民	20名	1回
③ 介護予防体操（教室）	近隣住民	15名	24回（月2回）
4. 暮らしを元気で楽しく（各種教室）			
① フラワーアレンジメント	一般市民	10名	12回（月1回）
② 染物（藍染・紅型）	一般市民	10名	2回（8月、10月）
③ 習字	一般市民	10名	12回（月1回）
④ 折り紙	近隣住民	15名	12回（月1回）
⑤ 音楽会	近隣住民	30名	1回

収支予算書

NPO 法人狛江共生の家

<収入の部>

項 目	金 額	内 訳
新しい風補助金	200,000 円	
NPO 法人狛江共生 の家より	150,000 円	地域の力推進事業予算より
合 計	350,000 円	

<支出の部>

項 目	金 額	内 訳
消耗品費	20,000 円	文具 事務用品
印刷費	10,000 円	案内チラシ・レシビ印刷
案内用看板設置	10,000 円	PR 用（材料費のみ）
通信費	10,000 円	案内発送
講師料	150,000 円	10,000 円×9 5,000 円×2
調理用具購入	140,000 円	ガスオープン ハンドミキサー ステンボール5 ケーキ型 角蒸器 鉄板焼き機 バーベキューセット他
行事保険	10,000 円	
合 計	350,000 円	

* 材料費等は参加者から実費をいただきます。

平成 20 年度 事 業 計 画 書

平成 20 年 9 月 1 日から平成 21 年 8 月 31 日まで

特定非営利活動法人狛江共生の家

1 事業実施の方針

狛江共生の家の入居者の食事や生活環境整備など、入居者の日常生活のサポートを引き続き拡充しつつ、狛江共生の家の共用スペースであるサロンを活用した交流行事や各種教室を開催します。さらに、狛江市内の一人暮らし高齢者を中心とする緊急時における助け合いの活動、また、世代間の交流を深める活動など、地域連携を広げる地域の力推進事業を進めます。

第 2 期は、この地域の力推進事業を本格的に展開する年とします。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施 予定 日時	実 施 予 定 場 所	従事者の 予定人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出 見込額 (千円)
居住支援事業	掃除など生活環境支援ないし整備	通 年	狛江市駒井町狛江共生の家	15 人	狛江共生の家居住者、14 人	3862
食事提供事業	食事提供など	通 年	狛江市駒井町狛江共生の家	15 人	狛江共生の家居住者、14 人	3224
地域の力 推進事業	地域交流・助け合い 行事、各種教室の開 催、会場提供など	通 年	狛江市駒井町狛江共生の家及び狛江市内	50 人	狛江共生の家周辺住民及び一般市民、500 人	400

平成20年度(第2期) 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

平成20年9月1日から平成21年8月31日まで

特定非営利活動法人狛江共生の家

科 目	金 額 (単位: 円)		
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
・入会金収入	20,000		
・正会員会費収入	75,000		
・淳会員会費収入	80,000		
・賛助会員会費収入	50,000	225,000	
2 事業収入			
・居住支援事業収入	4,200,000		
・食事支援事業収入	3,300,000		
・地域の力推進事業収入	930,000		
3 寄付金収入	200,000	8,630,000	
経常収入合計			8,855,000
II 経常支出の部			
1 事業費			
・居住支援事業費	3,861,600		
・食事支援事業費	3,224,000		
・地域の力推進事業費	400,000	7,485,600	
2 管理費			
・事務所負担金	240,000		
・通信費	144,000		
・消耗品費	360,000		
・租税公課	70,000		
3 予備費	138,000	952,000	
経常支出合計			8,437,600
経常収支差額			417,400
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	0		0
IV その他資金支出の部			
1 備品購入費等	200,000	200,000	
2 法人税等		0	
3 予備費		50,000	
その他資金支出合計			250,000
その他資金収支差額			-250,000
当期収支差額			167,400
前期繰越収支差額			82,400
次期繰越収支差額			249,800

平成 20 年 5 月 20 日

粕江市長 天野 裕 様

団体名 教育ネットコピー/ホワイトパレット

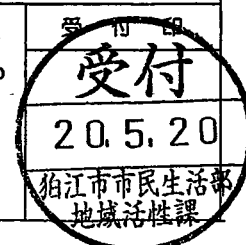
代表者名 前田かおり

市民公益活動事業補助申込書（平成 20 年度）

事業名称	手作り絵手紙工房と地域ミニギャラリー					
実施時期（予定）	2008 年 6 月～2009 年 3 月					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	興味はあっても一歩を踏み出せずにいる人たちに絵手紙とい 小さな空間上の自己表現を通じて自信や発表の喜びを味わっ てもらう 身近な素材と専門的な画材を併用し、その人のもつ個性や感 性を表現したオリジナル絵手紙の作製が実現できるような教 室活動。					

申込団体概要

団体名	教育ネットコピー/ホワイトパレット					
代表者名	前田かおり					
所在地 （事務所等）						
連絡責任者						
会員数	30 人	会費等	無（有）（年額・月額）	2,000 円		
主な活動地域	粕江市内及び隣接地域	直近事業年度決算額 （支出総額）	年度	8,500,000 円		
主な活動実績	コピーキッズデー（地域還元のチャリティーバザー）開催 ミニ講座（トンボ玉講座、パッチワーク講座、高校生しゃ べり場）					



収支予算書

手作り絵手紙工房と地域ミニギャラリー

収入の部

項 目		
新しい風補助金		200,000
会 費	1,500円×4回×20人	30,000
ギャラリー展示参加費	1,000円×20人	20,000
合 計		250,000

支出の部

項 目		
広告費	チラシ作製代、情報誌掲載料	20,000
画 材	画材一式、デジカメ、スキャナ	110,000
通信費	手紙、切手、その他	8,000
会場設営費	照明、展示用フック、看板その他	40,000
人件費	ボランティア弁当代(600円×10)	6,000
事務費	レーザーカラープリンタインク代	60,000
雑 費		6,000
合 計		250,000



事業計画書

ホワイトパレット

1 事業名称

手作り絵手紙工房と地域ミニギャラリー

2 内容

興味はあっても一歩を踏み出せずにいる人たちに絵手紙という小さな空間上の自己表現を通じて自信や発表の喜びを味わってもらう

- (1) 身近な素材と専門的な画材を併用し、その人のもつ個性や感性を表現したオリジナル絵手紙の作製が実現できるような教室活動。
- (2) ギャラリーでの展示・発表と、流通に載せられるような場所の提供。
- (3) その場を通して狛江発のアート発信、地域のさまざまな人たちのコミュニケーションの拠点作り。

3 活動日程

- 7 月 暑中見舞い絵手紙教室
- 9 月 オリジナルカード作り
- 11 月 クリスマスカード&年賀状
- 2 月 オリジナルカード作り
- 3 月 ギャラリー展示、発表

4 会費、募集人員

- 1 回 1 時間半 1,500 円、10 人まで

5 この事業を行うことで期待できる効果

絵を描いてみたいという希望はあるがなかなか実現できない人に、絵手紙という小さな画面で気軽に楽しく自己表現ができる充実感を伝える。

さらにその場を通じて、地域社会のコミュニケーションと情報発信の場として地域活性化に貢献する。

平成20年 5月20日

狛江市長 矢野 裕 様

団体名 狛江聞こえにくい人のふれあいの会

代表者名 長谷川 洋



市民公益活動事業補助申込書（平成20年度）

事業名称	中途失聴・難聴者のための福祉講座					
実施時期（予定）	平成20年6月～平成21年3月					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色・期待される効果等）	平成20年4月に上記の中途失聴・難聴者の会が発足した。多くの中途失聴・難聴者が読話、手話などのコミュニケーション方法や、補聴器の選択、購入の際の助成の受け方など福祉面での情報を求めていることが分かった。耳の障害のため引きこもるなど消極的になっている中途失聴・難聴者が、この福祉講座で学ぶことによって、障害を乗り越え、たくましく明るく生きていくことができるようになることを期待したい。					

申込団体概要

団体名	狛江聞こえにくい人のふれあいの会					
代表者名	長谷川 洋					
所在地 （事務所等）						
連絡責任者						
会員数	25 人	会費等	無（有）（年額・月額）	1200 円		
主な活動地域	狛江市	直近事業年度決算額 （支出総額）	年度	円		
主な活動実績	4月20日（日）：発足の会を催す。 午前10時00分～10時20分：設立総会 午前10時20分～11時20分：体験談の講演 午前11時20分～12時：交流会					



補助を申請する事業
「中途失聴・難聴者のための福祉講座」
事業計画書

粕江聞こえにくい人のふれあいの会

平成20年4月に中途失聴・難聴者の会（粕江聞こえにくい人のふれあいの会）が発足した。

難聴者や高齢になって耳が遠くなった人たちは、自身が障害者であるという意識は薄く、いろいろな生活上の不便を抱えながらも、それを解消するために積極的に動くことをしない場合が多い。中途失聴者の場合も、突然の失聴に戸惑い、情報がほしいが、電話なども使えず、苦しんでいる。

しかし、補聴器の講演会などを開くと多くの参加者があり、気軽に相談できる場があれば、そうした不便を何とかしたいと考えている。ただ福祉制度などの知識をもっていないため、補聴器などの購入で「補装具交付制度」があることを知らない、またそのために必要な身体障害者手帳の交付を受ける方法も知らないなど問題があることが分かった。耳が聞こえないだけに、情報が入りにくく、不便を解消する手だてについての知識が得にくい。

耳の障害のため引きこもるなど消極的になっている人や、家族の中で孤立したりしている人もいる。

そこで、中途失聴・難聴者に必要なコミュニケーション及び福祉制度についての基礎知識を得るための福祉講座を開くことにした。手話通訳、文字通訳などを配備し、十分に情報保障のある形で講演会、相談会、実習などをおこない、こうした知識を学び、身につけることで、障害を乗り越え、たくましく明るく生きていくことができるようになることを期待したい。

平成20年6月～平成21年3月、講演と相談・実習の会を下記のテーマで6回開く。

平成20年6月，9月，10月，12月，平成21年1月，3月に開催予定。

場所は、中央公民館（市民センター）を予定。

- 1) 補聴器に関する講演と相談
- 2) 手話についての講演と実習
- 3) 読話についての講演と実習
- 4) 福祉制度についての講演と相談
- 5) 粕江市の障害者・高齢者への支援、介護制度とその利用の仕方についての講演と相談
- 6) 年金のしくみについての講演と相談

中途失聴・難聴者のための福祉講座

収支予算書

収 入		支 出	
「新しい風」助成金	200,000	講演と実習・相談の会(6回)	195,000
		1回分	32,500
		内訳	
		講師謝礼	20,000
		配付資料コピー代	1,600
		情報保障の消耗品	1,000
		(ロール紙、ペンなど)	
		ビラなどの作成費、送料	4,300
		会場の部屋使用料	600
		情報保障予備費	5,000
		事務費	5,000
合計	200,000	合計	200,000

狛江聞こえにくい人のふれあいの会

平成20年度収支予算書

収 入		支 出	
会費収入 1,200円×25人	30,000	講演会 1回 講師謝礼	10,000
		情報保障費	3,700
		ビラ作成費、送料	4,800
狛江聴覚障害者会より	30,000	情報保障の消耗品	1,000
		部屋代	600
		例会費 10回分	36,000
		1回当たりの内訳	
		部屋代	600
		通信費	1,000
		資料印刷費	1,000
		情報保障消耗品	1,000
		事務費	2,000
		予備費	1,900
合 計	60,000	合 計	60,000



平成20年度 新しい風補助金 選考会